



スタートアップ分科会のご紹介

2025.11

- リーダー機関 株式会社三井住友銀行
- 代表者名 上席顧問 角元 敬治
- リーダー名 関西成長戦略室 担当部長 前川 卓郎

～スタートアップ分科会が目指す方向性～

①

連携強化

スタートアップ支援者や、
他のバイオコミュニティとの
連携を強化し、
スタートアップの成長に貢献する

②

人材育成強化

スタートアップで不足する
経営人材、事業化人材の
候補者の挑戦をサポートする

③

情報発信強化

関西のバイオコミュニティとして、
バイオベンチャーの
魅力を発信し、
国内外からの認知を高める

**「関西のバイオ産業の強み」を活かした
エコシステム構築のための研究、試行、発信を行い、
関西ならではのエコシステム形成と定着に貢献する**

役割	団体・企業名
リーダー機関	三井住友銀行
幹事機関	日本総合研究所
	三菱UFJキャピタル
	池田泉州銀行
	大阪産業局
	三井住友海上火災保険
	フォースタートアップス

役割	団体・企業名
メンバー機関	丸紅
	三井住友信託銀行
	キャノン
	日本ベーリンガーインゲルハイム
	ノーベルファーマ
	DCIパートナーズ
	阪急阪神不動産
	MIRACLE SCIENCE INNOVATION
	NTT西日本
	バイオ・サイト・キャピタル
	近畿経済産業局
	第一三共ヘルスケア
	SYNAPTO VENTURES
サントリーホールディングス	

分科会へのご協力（スペシャルトライアル参加者）

役割	団体・企業名
運営協力	都市活力研究所
BiocK事務局	近畿バイオインダストリー振興会議
スペシャル トライアル 参加 アドバイザー	TMI総合法律事務所
	角田皓一会計事務所
	ケンブリッジコンサルタンツ
	京都大学（京都iCAP）
	大阪大学（OUVC）
	神戸大学（KUC）
	ジェトロ大阪本部

～スタートアップ分科会の活動について～

分科会の活動

有志の事業会社、スタートアップ支援機関からメンバーがあつまり、活動。

2024年度は、主に以下の活動を実施

- 1 バイオ産業におけるスタートアップエコシステム形成のための情報交換
- 2 スタートアップ分科会の活動の社会への発信
- 3 スペシャルトライアルの開催（スタートアップとメンバーによるディスカッション）

分科会ミーティング

- 05/17 年度方針について
- 07/19 情報交換・懇親会
- 11/15 情報交換
- 01/17 公的支援の情報共有
(近畿経済産業局、JETRO)
- 03/21 情報交換・起業ガイドブックの紹介

幹事会

- 05/24 年度報告、運営について
- 08/02 イベント対応など
- 10/24 情報共有など
- 03/04 2025年度運営について

外部発信

活動発信	スペシャルトライアルの活動をBiocKのHPに掲載（年6回開催）
イベント	<p>09/27 未来の医療プレEXPO（大阪：NakanoshimaQross）</p> <ul style="list-style-type: none">●（登壇）スタートアップ分科会・スペシャルトライアル登壇企業について紹介●（展示）スタートアップ分科会・スペシャルトライアル登壇企業について紹介 <p>10/31～11/01 Challenge万博（東京：SMBC東館）</p> <ul style="list-style-type: none">●（登壇）セッションにて

～スペシャルトライアルについて～

スペシャルトライアルとは

- バイオ関連のスタートアップとスタートアップ分科会でのディスカッションを通し、具体的なサポートを検討、実施していく「スペシャルトライアル」を隔月で実施しています。
- スペシャルトライアルの実績を積み上げ、サポートに関する効果検証を、関西のバイオ産業におけるスタートアップエコシステム形成に還元していくことを目指します。

スペシャルトライアル登壇企業の成長をスタートアップ分科会は応援しています



スペシャルトライアル（隔月開催）

2024年度は10件実施

HPにて活動を掲載

ステージ

シード	1件
アーリー	9件
ミドル	0件
レイター	0件

領域

バイオ創薬・再生医療	2件
研究用ツール・基礎技術（プラットフォーム技術）	2件
医療機器・SaMD	3件
ヘルスケア・健康産業	2件
その他	1件

主な課題

人材（組織）	販路	資金調達	事業戦略
協業先	助言者	知財	

2024年度スペシャルトライアル



	社名・団体名	ステージ	領域
1	FairMed 外科医の血管内手術用の支援ツールを開発（神大 起業前）	シード	医療機器・ SaMD
2	リバスキュラーバイオ（株） 血管内皮幹細胞（ESC）を用いた微小血管再生治療（阪大）	アーリー	バイオ創薬・ 再生医療
3	（株） bacterico 細菌を用いた研究分析サポート及び健康支援サービス（慶応）	アーリー	ヘルスケア・ 健康産業
4	（株） BTB創薬研究センター アンメットニーズに応える堅牢な開発パイプライン創薬（京大発）	アーリー	バイオ創薬・ 再生医療
5	マイキャンテクノロジーズ（株） 血球細胞（Mylc）製造とそれを用いた検査/創薬支援（熊大/京大発）	アーリー	研究用ツール・ 基礎技術
6	（株） LUCASLAND ラマン計測法の原理を使ったウェアラブル化学分析装置（東大発）	アーリー	研究用ツール・ 基礎技術
7	VentEase（株） 人工呼吸器患者を救う横隔神経刺激デバイス（阪大発）	アーリー	医療機器・ SaMD
8	（株） Cubec ヘルスケア・医療AIの開発・販売（国立循環器病研究センター発）	アーリー	医療機器・ SaMD
9	Integrated Health Science（株） 健康関数®の開発と健康ソリューション提供（健康関数分科会）	アーリー	ヘルスケア・ 健康産業
10	ホロバイオ（株） 機能性腸内細菌を活用した革新的な水産養殖技術の開発（京大発）	アーリー	その他 （モノづくり）

スタートアップ分科会が目指す連携強化



1 連携強化

① 関西で活動するスタートアップ関連支援機関・機能との連携強化

- 既存で確立されている支援機能の相乗効果を図るとともに、現在リーチできていない課題・ギャップに対する手当てを検討する。
- 関西広域連合、京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション (KSAC)、各クラスターやアカデミアが有するスタートアップ支援機能との連携を図る。

具体案：支援機能との連携を通じた課題・取組みの具体化、コミュニティメンバーの拡充

② 関西における研究機関、投資・金融、大手・中小企業とスタートアップの連携強化

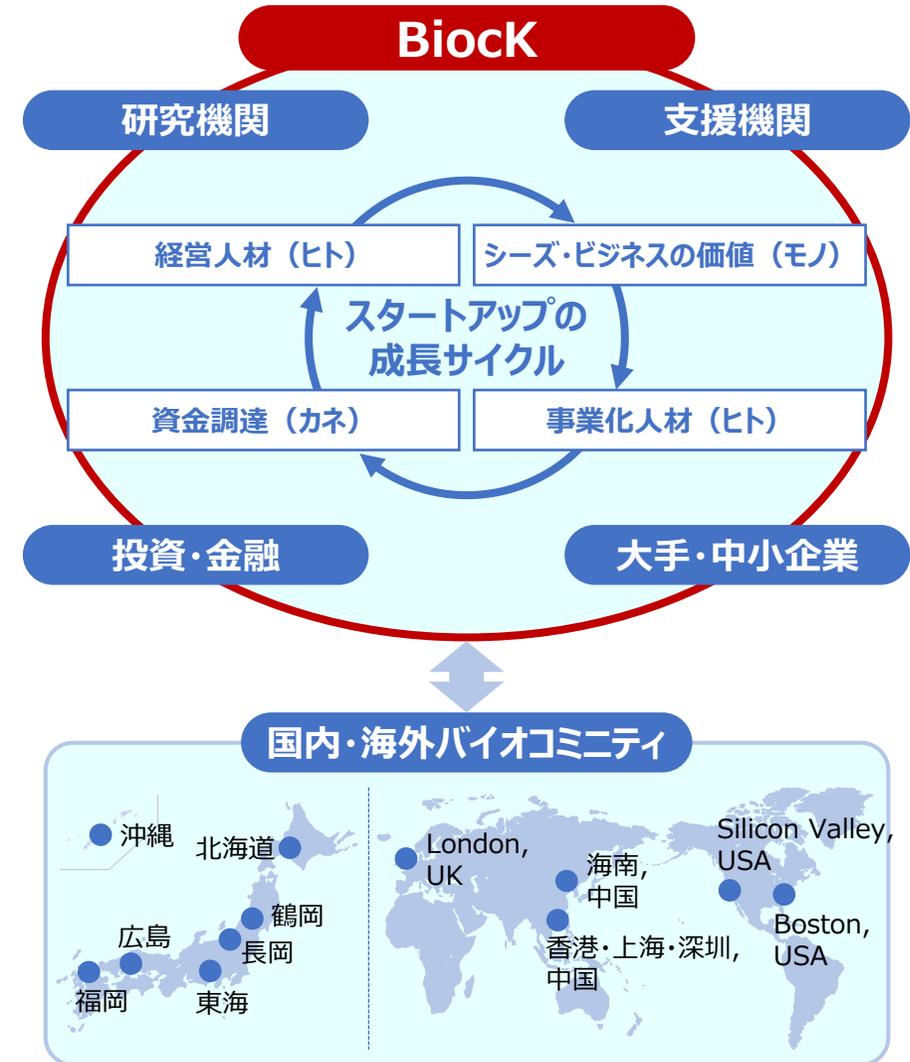
- 各ステークホルダーとの連携を図り、域内外の認知を高めながら、より強固なエコシステムの確立を目指す。

具体案：シーズ発表会（研究機関/企業）の開催、
Globalカンファレンス（スタートアップ/投資家）の開催

③ 国内・海外バイオコミュニティとの連携強化

- 国内における他地域バイオコミュニティや、海外におけるスタートアップエコシステムとの連携を図り、海外からのバイオイノベーションハブとしての認知を高めながら、世界的なエコシステムの構築を目指す。

具体案：Globalカンファレンス（スタートアップ/投資家）への参加・開催、
バイオベンチャーの国内外大手企業との連携支援



スタートアップ分科会が目指す人材育成強化

2 人材育成強化

① 経営人材の育成

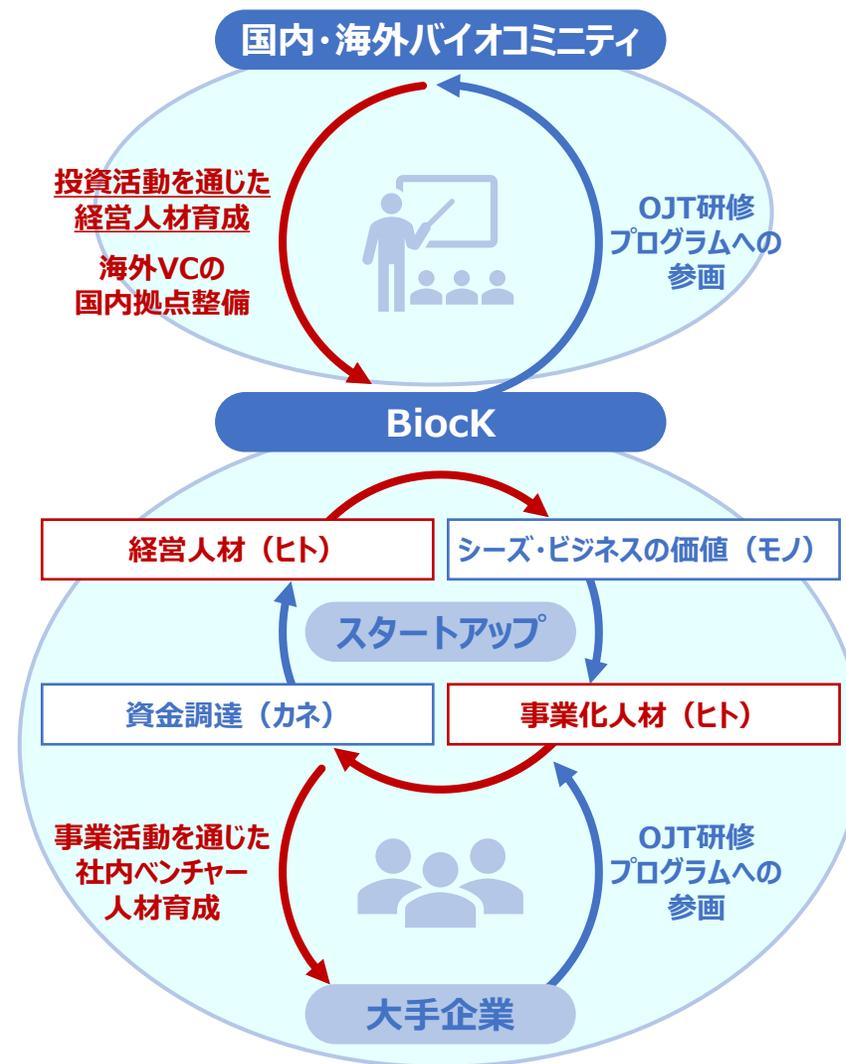
- ベンチャーとして取り扱うべき研究テーマの発掘・目利きの上、経営戦略の構築が可能な人材を育成し、顕在化する。
- 現状では、経営人材そのものが不足しており、また、経営人材候補に対し備えておくべき能力を十分に育成することができていない。
- 世界最先端のエコシステムが確立している海外バイオコミュニティとの連携を通して、上述の能力の向上を図る。

具体案：海外バイオコミュニティに対するシーズ情報の発信、経営人材育成に長けた海外VCへの出資等による連携、経営人材育成のためのOJT支援

② 事業化人材の育成

- 研究開発戦略・知財戦略・薬事戦略等の構築と、主体的な活動が可能な人材を育成し、顕在化する。
- 現状では、大手企業の戦略に合致する熟度まで研究開発を進展できておらず、開発目標に繋がるコミュニケーションが取れていない、戦略構築を担うことができる人材がいない。
- 人材が大手企業に局在化し、経験やノウハウの共有が不足している状況を打破する仕組みを検討する。

具体案：事業化人材育成のためのOJT支援（バイオベンチャーへの出向プログラムを通し、参加者や所属元組織に対して経験・ノウハウの獲得を、バイオベンチャーにとっては事業化視点の獲得を目指す）



3 情報発信強化

① 国内外の認知度・アクセス向上

- 関西の魅力を国内外に発信することでBiocKの国内外での認知を高め、国内外企業の誘致、関西のシーズの導出、国内外からの資金調達の実現を目指す。
- 情報発信にあたっては、BiocKとして窓口機能を有するとともに、各連携機関の継続的な情報アップデート（各連携機関の窓口担当の把握、機関内での取り組み進捗の把握）を行う。
- 現状では、スタートアップ自身が投資家等に対して分かりやすい、かつ必要十分な内容の情報提供ができていない。その背景には、解決したい社会課題の設定、市場規模やビジネスモデル上の検討、出口戦略の設定が不十分である場合が多いことが挙げられる。

具体案：各連携機関の窓口の整理、BiocKの窓口機能の整備
（組織・担当者の整備、各連携機関の継続的な情報アップデート）

具体案：海外スタートアップデータベースへの登録強化を図る

